

「福岡県教育センターとの連携による動画コンテンツを活用した 教員研修支援プロジェクト」

研究の概要

◆課題認識

・若年教員およびミドルリーダー教員の資質向上に向け、大学教員及び教育センターとの連携強化による、効果的・効率的な教員研修のモデルの開発が求められている。

◆研究の目的

・福岡県教育センターで実施される若年教員研修やミドルリーダー教員研修において、動画コンテンツの活用や動画コンテンツを用いた効果的・効率的な研修モデルを開発する。

◆研究の方法

・福岡県教育センター指導主事と大学教員との複数回の協議を通して、教員研修のねらいや在り方について共通理解を深めた上で、研修で活用することができる動画コンテンツを作成する。

・動画コンテンツを活用した研修を実施するとともに、そのコンテンツを教育総合研究所HPで公開する。

研究のポイント・成果

◆研究のポイント

①前年度に福岡県教育センターにおいて国語科、算数・数学科指導主事と令和3年度教員研修の方向性や研修で活用する動画コンテンツの内容について協議した。その内容をもとに、国語科、算数・数学科の動画コンテンツを作成した。

(担当：国語科、河野智文、算数・数学科、清水紀宏)

- ②国語科における「主体的・対話的」で深い学びの実践(前・後半)2本
- ③小学校算数科における数学的な見方・考え方(概論編・事例編)2本
- ④中学校数学科における数学的な見方・考え方(概論編)等3本

②福岡県教育センター教員研修での活用

(国語)中・義務教育・特別支援学校若年教員研修1年目(10月)

(算数)小・義務教育・特別支援学校若年教員研修1年目(11月～12月)

(数学)中・義務教育・特別支援学校若年教員研修1年目(11月)

◆成果

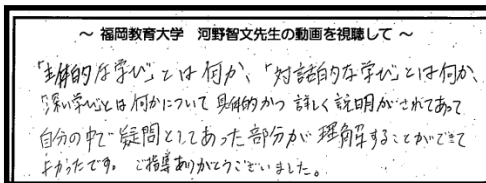
・大学の研究者と福岡県教育センター指導主事が、研修の目的等について共通理解した上で研修教材を開発したことで、指導主事が研修で活用しやすいコンテンツを制作できた。

・研究者によるアカデミックな解説の視聴と指導主事の実践経験を融合するという研修を構成し、コンテンツを適宜活用した。このことによって、例えば、国語科では主体的・対話的で深い学びの理解とともに、指導主事の実践的指導力が生かされた研修が実現し、研修受講者より高い評価が選られた。

・研修担当指導主事からは「大学の先生と協議することで研修内容を再構成することができた」など、本プロジェクトを通して研修内容がより良くアップデートされたという評価を得た。



【動画コンテンツQRコード】



今後の課題

◆福岡県教育センターとのさらなる連携とコンテンツの充実に向けて

・コロナ渦にあっても若手教員研修の充実喫緊の課題であり、教員の勤務実態等に基づいた研修の在り方の検討が求められている。動画コンテンツを活用した研修は、研修時間が減少する中でも、研修の質を担保することのできる研修モデルとして、福岡県教育センターと継続的に研究していく必要がある。

・オンライン等による研修が今後増えると考えられることから、国語科、算数・数学科以外の教科等の研修プログラムについても、大学と福岡県教育センターが共同で進めていく必要がある。